

投票環境の向上に関する検討について

1 検討の目的

平成29年に策定した「投票環境の向上に関する具体的方策」に基づいて、各施策を着実に取り組み、本年1月の市議選では、概ね実施に至った。

今回の市議選では、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出された状況ではあったものの、全国的に投票率が低下する中、前回の投票率を上回る結果となった。しかしながら、投票率そのものは、依然として低い水準にあることは否めない。

ここ数年のデジタル化の進展、市民生活様式の変化など、投票環境を取り巻く状況も変化してきている中、新たな対応が求められている。

そこで、平成29年と同様に、「北九州市明るい選挙推進協議会」に今後の投票環境の向上に関して諮問し、提言を受けるもの。

2 諮問の内容

(1) 今後の期日前投票等のあり方について

期日前投票の利用が年々高まっている中、市内の人口増減等の地域特性や市民の生活様式の変化などに合わせた投票所のあり方等。

(2) 主権者教育の仕組みづくりについて

今後の社会を担っていく主役となる若者たちが、政治への関心を高め、本市への誇りを持って行動する自覚を育む仕組みづくり。

(3) 新たな選挙啓発の方向性について

デジタル化の進展や市民のニーズに合わせた効果的な選挙広報の手法。若年層に加え、政治や選挙にあまり関心がない層に投票所へ足を運んでいただくための有効な働きかけ。

3 諮問事項の検討方法

(1) 検討機関

北九州市明るい選挙推進協議会が、北九州市選挙管理委員会からの諮問を受け、同協議会に下部組織として「投票環境の向上に関する検討会」を設置。

(2) 「投票環境の向上に関する検討会」の組織構成

北九州市明るい選挙推進協議会委員 8名

専門委員 14名

〔 福祉分野、教育分野、地域づくり分野、情報発信分野
子育て層、若年層、青年層 〕

4 スケジュール

令和3年度内に検討会を4回程度開催し、答申（提言）を受けるとともに、様々な意見を集約し、方策をまとめる。

第1回は、8月初旬に実施予定（公開）

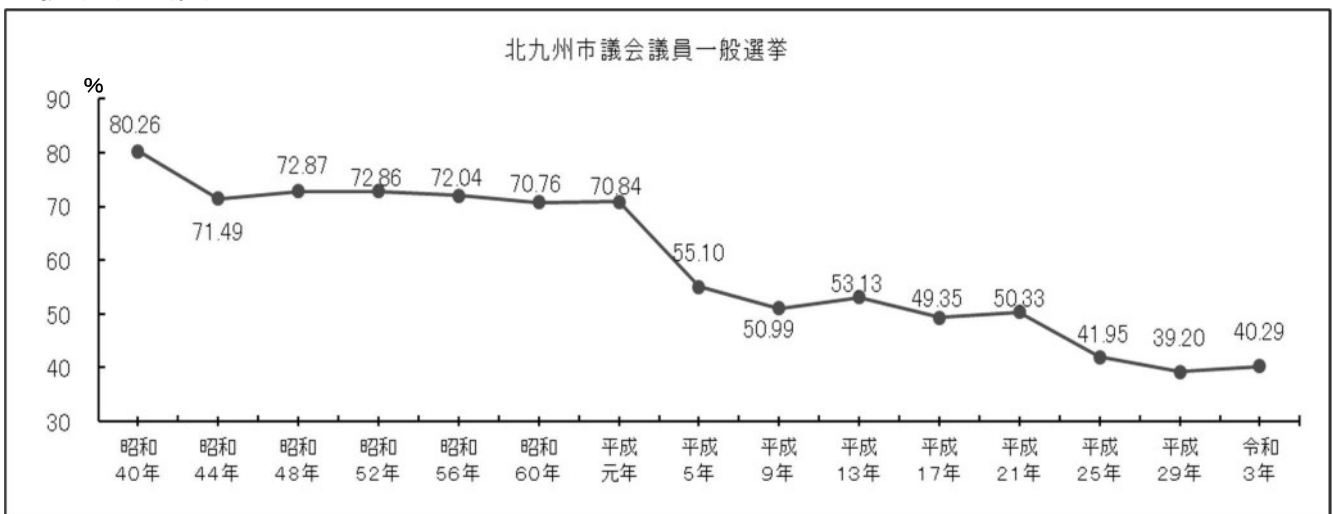
令和3年1月31日執行 北九州市議会議員一般選挙 執行結果

1 投票結果

	当日有権者			投票者数			投票率(%)			前回の投票率(%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
門司区	37,231	44,957	82,188	15,544	19,842	35,386	41.75	44.14	43.05 (+1.31)	41.74
小倉北区	70,352	81,022	151,374	26,091	32,238	58,329	37.09	39.79	38.53 (+3.04)	35.49
小倉南区	81,906	91,822	173,728	31,580	36,186	67,766	38.56	39.41	39.01 (+0.04)	38.97
若松区	31,924	36,103	68,027	13,238	15,913	29,151	41.47	44.08	42.85 (+0.71)	42.14
八幡東区	25,757	30,017	55,774	10,440	13,170	23,610	40.53	43.88	42.33 (+1.69)	40.64
八幡西区	97,321	111,366	208,687	37,246	44,951	82,197	38.27	40.36	39.39 (+1.28)	38.11
戸畑区	22,945	25,237	48,182	9,449	11,584	21,033	41.18	45.90	43.65 (-1.98)	45.63
合計	367,436	420,524	787,960	143,588	173,884	317,472	39.08	41.35	40.29 (+1.09)	39.20

※かっちは、前回との増減比率

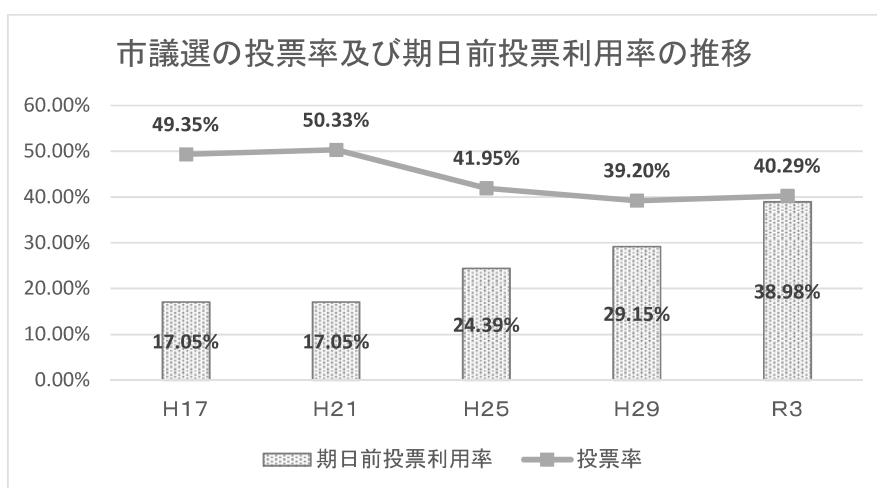
<投票率の推移>



R3. 1. 31 北九州市議会議員一般選挙における期日前投票利用率の推移

選挙	当日有権者数 ①	投票者数②	期日前投票数③	投票率 ②/①	期日前投票率 ③/①	期日前投票 利用率 ③/②
平成17年市議	734,258	362,389	61,797	49.35%	8.42%	17.05%
平成21年市議	801,276	403,290	68,748	50.33%	8.58%	17.05%
平成25年市議	796,516	334,167	81,516	41.95%	10.23%	24.39%
平成29年市議	802,380	314,517	91,690	39.20%	11.43%	29.15%
令和3年市議	787,960	317,472	123,766	40.29%	15.71%	38.98%

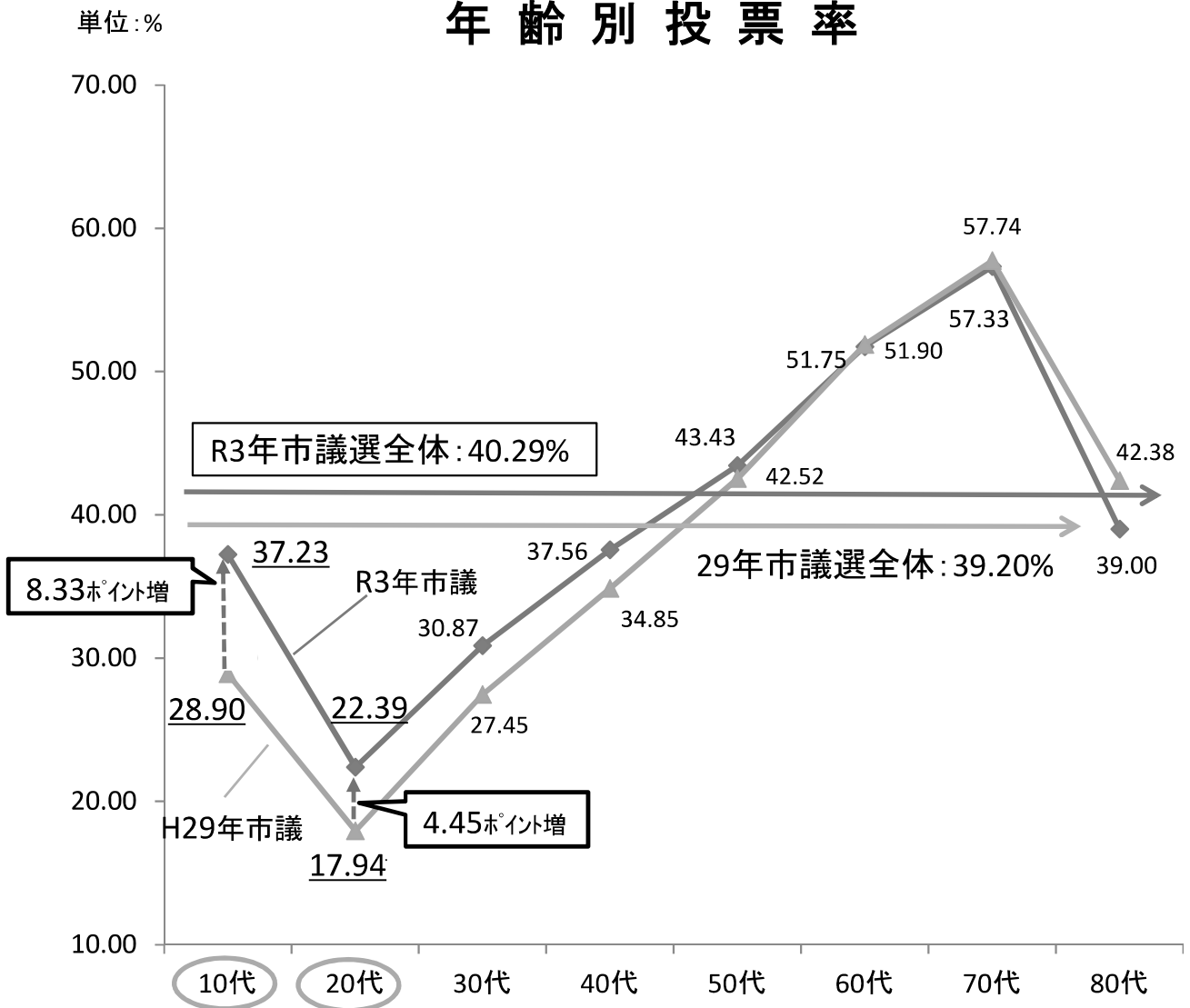
+9.83%



令和3年1月31日執行 北九州市議会議員一般選挙

【抽出調査】

年齢別投票率



※年代別調査は、標準的な投票区を抽出し、調査を行ったもの。
 ※全体の投票率は全件調査によるもの。

単位：%	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
R3年市議選投票率	37.23	22.39	30.87	37.56	43.43	51.75	57.33	39.00
29年市議選投票率	28.90	17.94	27.45	34.85	42.52	51.90	57.74	42.38
R3年と29年との差	8.33	4.45	3.42	2.71	0.91	▲ 0.15	▲ 0.41	▲ 3.38
全体との差(R3年市議)	▲ 3.06	▲ 17.90	▲ 9.42	▲ 2.73	3.14	11.46	17.04	▲ 1.29
全体との差(29年市議)	▲ 10.30	▲ 21.26	▲ 11.75	▲ 4.35	3.32	12.70	18.54	3.18

投票環境の向上に関する具体的方策（平成 29 年 12 月策定） [抜粋]

■今後の具体的方策について

（１）商業施設等への期日前投票所の設置

出張所が置かれていない行政区を優先し、有権者の利便性向上のため、商業施設への期日前投票所を設置。

（２）出張所での期日前投票所の開設期間等の見直し

出張所間において宅地開発等が進む地域と人口が減少している地域での利用者数の大きな差を考慮した見直し。

（３）当日投票所の人員体制の見直し

期日前投票の利用者の増加に伴う当日投票所の事務従事者配置基準の見直し。

（４）新たな選挙啓発等の取組み

<選挙啓発>

① 選挙啓発動画の作成

若者の意見やアイデアを取り入れた若者向け選挙啓発動画の作成

② ホームページの充実

選挙情報の提供手段としてのホームページコンテンツの充実

③ SNS等を活用した効果的な情報発信

即時性の高いSNS等を活用した効率的な情報発信

<主権者教育>

④ 出前講座の拡充

主権者教育として、これまで実施した高校生向け講座の内容の拡充及び重点的な取り組み。

⑤ 親子参加型の啓発

親と子どもが一緒になっての意識付けとして、親子参加型のイベント等の実施

(ア) イベント会場での模擬投票の実施

(イ) 選挙クイズの実施

⑥ P T Aとの連携による啓発

子育て世代への啓発として、P T A協議会と連携した保護者向け啓発の実施

北九州市明るい選挙推進協議会について

1 目 的

選挙が選挙人の自由に表明する意思によって、公明かつ適正に行われるように常にあらゆる機会を通じて市民の政治常識の向上と遵法精神の高揚に努め、理想選挙の実現を図ることを目的とする。

2 事 業

推進協議会は、第1条の目的を達成するため、北九州市選挙管理委員会に協力し、他の社会教育団体等と提携して、次に掲げる事業を行う。

- (1) 明るい選挙推進に関する調査研究
- (2) 明るい選挙推進指導者養成
- (3) 明るい選挙推進に関する啓発宣伝計画の策定及びその実施
- (4) その他この推進協議会の目的達成に必要な事業

3 組 織

- (1) 推進協議会は、委員24名で構成
- (2) 委員は、青年団体、婦人団体、社会教育団体その他の代表者、報道機関の代表者及び学識経験者